

# 第1話 たび丸、故郷に帰る





とど丸、ただいま！  
久しぶりに草津に帰ってきたよ。



兄さん！お帰り！！  
5年ぶりだね！



あ、でもゴメンね。  
今兄さんの部屋、  
うちの3つ子が<sup>せんりょう</sup>占領してるんだ・・・



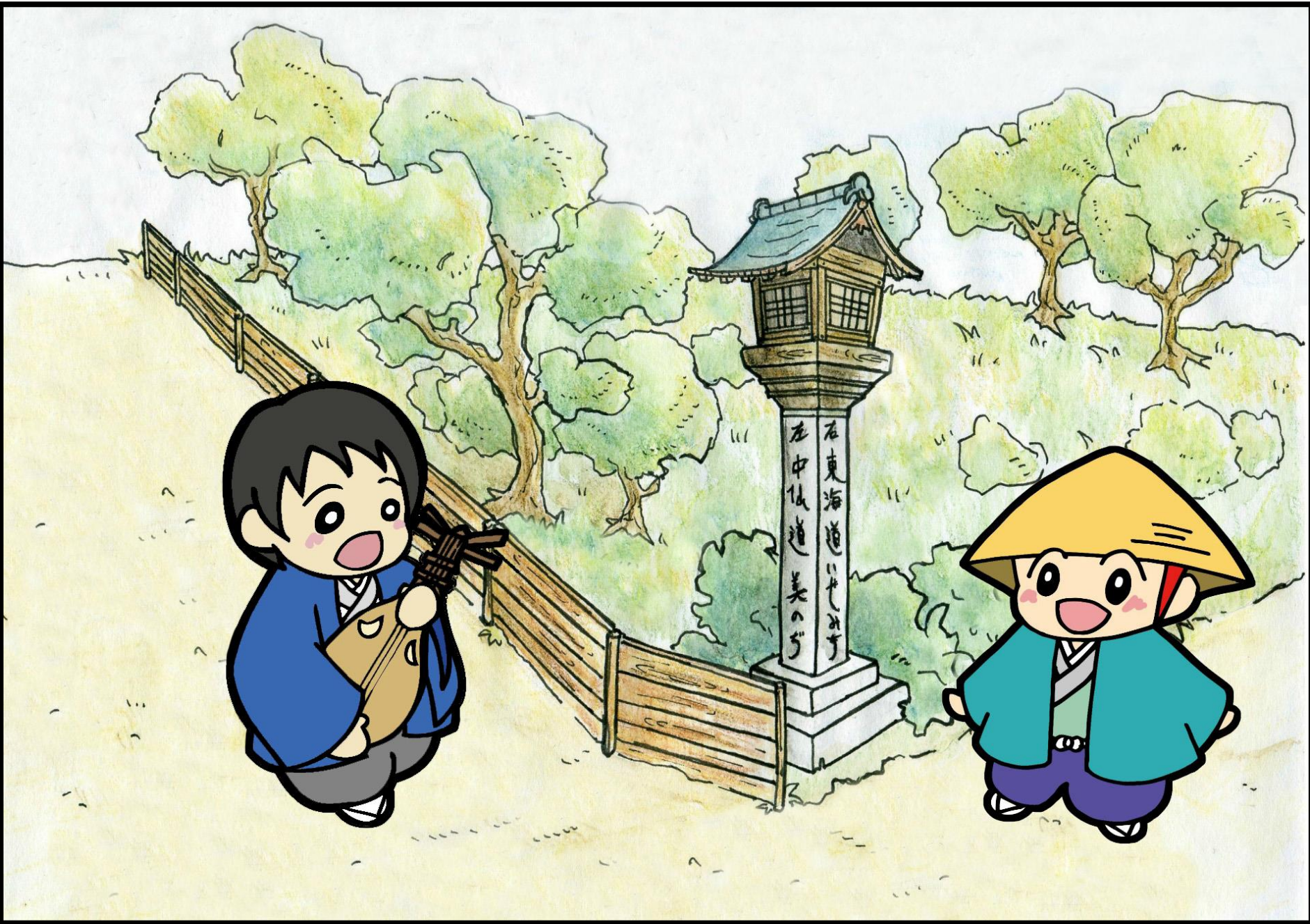
えっ！ぼくどうするの！？



今は火<sup>ひ</sup>の見櫓<sup>みやぐら</sup>しか・・・。  
あ！そういえば物知りのばんちゃんも  
帰ってきてるんだって！会ってきなよ。



うん、じゃあ会ってくるよ！



石東海道いせみす  
在中仙道美へぢ



久しぶり、たび丸くん。  
元気にしてたかい？



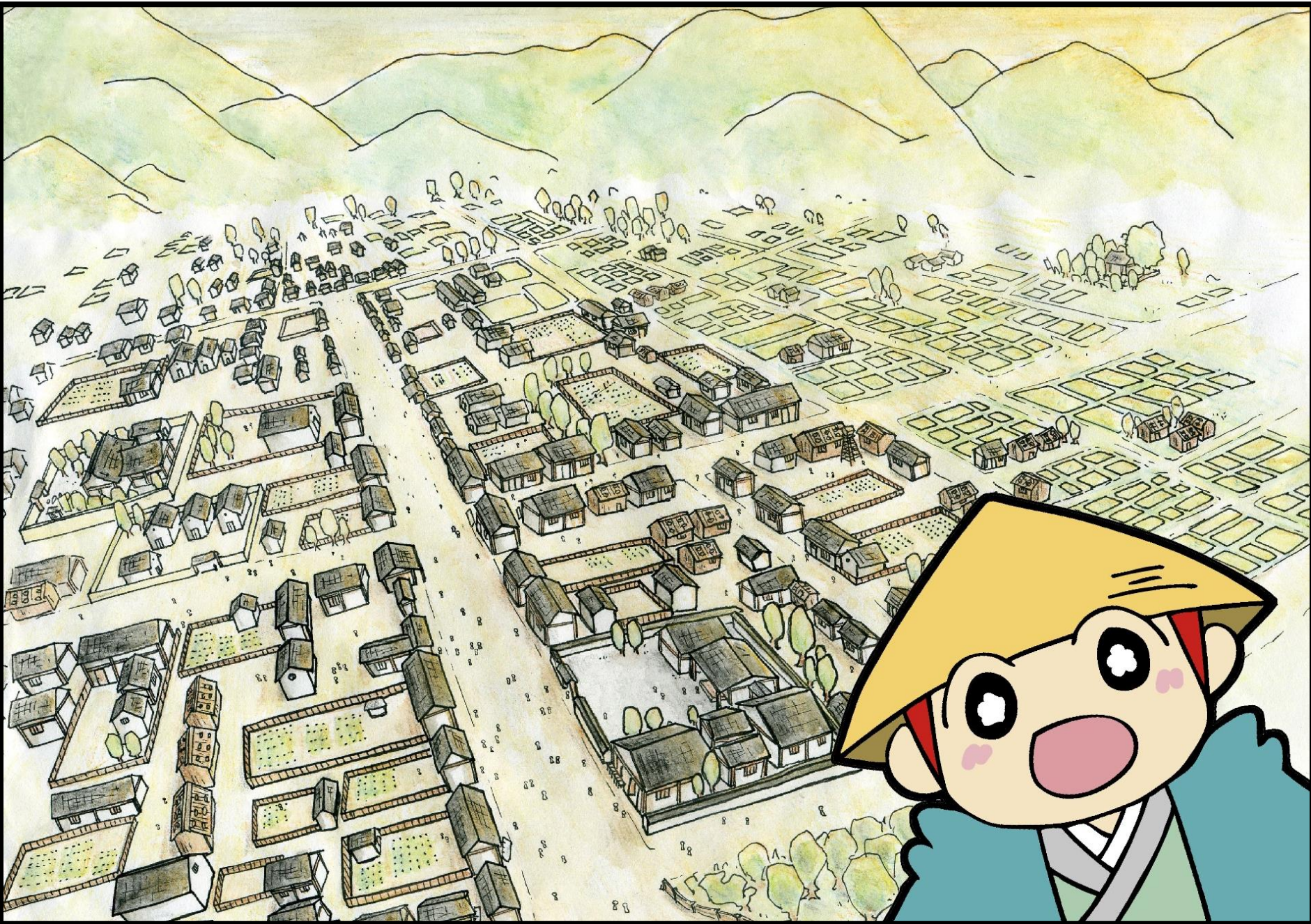
うん、元気にしてたよ。



ここは変わらないね。



そうだね。  
草津川の堤防でも歩こうか。





わあ～！！



田や畑が多いけどちゃんと区切られているね！  
なんでだろう？



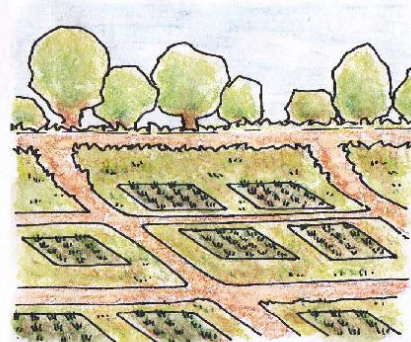
それはね、たび丸くん・・・

# 都市計画区域とは？

〈市街化区域〉



〈市街化調整区域〉



都市計画法で、無秩序な開発を防止し、計画的な市街化を図るため、区域区分（線引き）を定めることができるんだよ。





## ■市街化区域とは？

既に市街化を形成している区域および概ね10年以内に優先的、計画的に市街化を図るべき区域のこと。

- ・開発などの許可が下りやすい。
- ・都市計画事業または土地区画整理事業に用いられる目的税（都市計画税）がかかる。

## ■市街化調整区域とは？

市街化を抑制する区域のこと。

- ・開発などの許可に制限がかかる。

都市計画事業とは、「都市計画施設」の整備や市街地開発事業のこと。  
例えば、道路・公園・上下水道やごみ焼却場などをつくることだよ。





へえ～、そうだったのか！

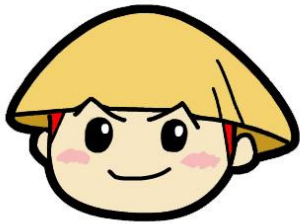


そういえば、にぎわ  
人が集まって賑わっているところって、  
旅する人が立ち止まって見るきれいな風景や、  
何かおいしい食べ物があるんだよね。



草津にも特産品とかがあったらいいかもね。





よし！  
この草津にも何か名物を作ろう！！



その晩、新しい名物の  
原型が生まれたのであった。

# くさつ博士のホントの歴史

草津は、江戸時代東海道と中山道が合流・分岐する宿場町で、その分岐・合流点には「右東海道いせみち 左中仙道みのぢ」と刻まれた文化13年（1816）の道標が建っており、街道を行き交う旅人を見守ってきました。

東海道五十三次の江戸から数えて52番目の宿場としてにぎわいを見せていた草津宿。その様子を描いた浮世絵には「うばがもちや」の店先を描いたものが見られ、草津名物として名を馳せていました。

江戸時代のガイドブック『伊勢参宮名所図会』によると、近江源氏佐々木義賢こうえいの後裔が滅ぼされたとき、3歳になる遺児を育てるために餅を創り売り始めたのが始まりと記しています。ほかにもその起源は諸説ありますが、江戸時代の初めごろには草津の南、矢倉村の街道筋でうばがもちが売られていたようです。



# くさつ博士のホントの歴史

うばがもちやとともに草津の浮世絵に描かれたのが天井川として有名な草津川です。  
この天井川は周辺の民家の屋根より川床が高く、  
江戸時代の浮世絵やガイドブックなどに紹介されています。  
この草津川は、江戸時代に普段は橋が架けられておらず、旅人は歩いて川を越えていました。  
そして江戸時代が終わり、明治19年（1886）に川の下にトンネルが掘られ、  
川を越えずに行き来が可能になりました。



これが  
うばがもち  
なんだよ

